

林業3団体による国への提案・要望活動を実施

(公社)岐阜県山林協会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会は毎年夏と冬の2回、国への「森林・林業・木材産業活性化推進に関する提案・要望活動」を行っています。去る7月29日(月)に各団体の会長等が林野庁青山長官をはじめ幹部職員と面談し、「循環型の森林づくり」推進のための皆伐・再造林などの森林整備とそのための森林境界の明確化、防災・減災対策として治山事業の実施等に係る予算確保、また、木材利用ポイントを活用した木造住宅の建設促進策の創設など計14項目の要望・提案を行いました。

また、林野庁への面談終了後に県選出の国会議員の方々にも同様の要望活動を行いました。

<提案・要望項目>

令和7年度予算の確保について	制度の運用等について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 循環型の森林づくりの推進 ・ 防災・減災、国土強靱化対策の推進 ・ 国産材の競争力強化と需要拡大の推進 ・ スマート林業の推進 ・ 林業・木材産業に係る人材の育成・確保の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林施業地の集積に係る新たな仕組みの構築 ・ 花粉症発生源対策の推進に向けた支援の強化 ・ 多様な担い手による再造林施業を促進する新たな仕組みの構築 ・ 木造住宅等における木材需要喚起対策の強化 ・ 林業における「働き方改革」推進に係る支援の強化 ・ 林業・木材産業における労働安全衛生対策の強化 ・ 森林土木事業におけるICT活用の推進 ・ 森林サービス産業の育成・普及に向けた支援の拡充 ・ J-クレジット制度(森林由来)の拡充



青山林野庁長官・小坂次長への要望状況



長崎屋森林整備部長への要望状況